



令和8年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和8年2月9日

上場会社名 細谷火工株式会社
 コード番号 4274
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 U R L <http://www.hosoya-pyro.co.jp>
 (氏名) 細谷 穂志
 (氏名) 秋葉 真奈美 T E L 042-558-5111

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第3四半期の業績 (令和7年4月1日～令和7年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
8年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第3四半期	1,076	△6.2	235	△34.8	240	△34.9	166	△34.9
	1,148	25.9	361	177.9	369	168.3	256	159.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
8年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
7年3月期第3四半期	41.72	—
	64.07	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
8年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
7年3月期	4,702	3,436	73.1
	4,482	3,197	71.3

(参考) 自己資本 8年3月期第3四半期 3,436百万円 7年3月期 3,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
7年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期	—	—	—	17.00	17.00
8年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の業績予想 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	2,030	△0.4	280	△3.7	283	△5.0	198	△9.9	49.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |
- (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	8年3月期3Q	4,032,000株	7年3月期	4,032,000株
② 期末自己株式数	8年3月期3Q	29,535株	7年3月期	29,535株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	8年3月期3Q	4,002,465株	7年3月期3Q	4,002,465株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に緩やかな回復が続いているものの、円安の進行や物価上昇が個人消費に及ぼす影響など国内景気を下押しするリスクを抱え、先行きの不透明感は払拭できない状況が続いております。

このような環境の下、日本政府の政策により防衛関連製品の需要は高まっているものの、当社の訓練及び救命用火工品の大幅な受注増加はありませんでした。しかしながら、火工品に代表される高エネルギー物質を利用した製品の保管、評価試験や燃焼処分への需要は官民間わず増加しており、この状況は当面継続する見込みです。当社ではこれらの需要に対応するため、施設及び設備の新設や再整備などへの投資を順次行っております。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は1,076百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益235百万円（同34.8%減）、経常利益240百万円（同34.9%減）、四半期純利益166百万円（同34.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりあります。

① 火工品事業

安全保障やエネルギー分野に関する政策の影響で、火工品及び化成品の評価試験や燃焼処分への需要が増加いたしました。また、主力の防衛装備品の売上も下期に入り好調に推移いたしましたが、前年同期に集中したスポット受注の反動もあり、売上は前年同期を下回りました。利益面では、前期と比較して収益性の高い受注が減少したことや、防衛装備品の粗利率が低いことに加え、燃焼処分業務の安全性向上を目的とした設備の更新や賃上げの実施による費用負担で減益となりました。

以上により、売上高は944百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益は170百万円（同43.3%減）となりました。

② 賃貸事業

火薬庫の賃貸需要が高まっており、売上高は132百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は95百万円（同5.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は4,702百万円（前事業年度末比219百万円増）、負債合計1,265百万円（同19百万円減）、純資産合計3,436百万円（同239百万円増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和8年3月期の業績予想につきましては、前回発表（令和7年5月14日「令和7年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和7年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	725, 351	584, 224
受取手形及び売掛金	588, 128	342, 124
電子記録債権	13, 709	9, 863
商品及び製品	33, 704	72, 017
仕掛品	346, 512	697, 920
原材料及び貯蔵品	405, 198	389, 291
その他	13, 394	35, 132
流動資産合計	2, 126, 000	2, 130, 573
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	345, 874	363, 163
土地	1, 321, 680	1, 321, 680
その他（純額）	195, 295	186, 984
有形固定資産合計	1, 862, 850	1, 871, 828
無形固定資産	3, 297	2, 136
投資その他の資産		
投資有価証券	486, 734	693, 821
その他	3, 720	3, 938
投資その他の資産合計	490, 454	697, 759
固定資産合計	2, 356, 602	2, 571, 725
資産合計	4, 482, 603	4, 702, 299
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69, 809	99, 327
短期借入金	511, 004	511, 004
未払法人税等	43, 961	36, 368
賞与引当金	95, 881	25, 599
その他	190, 714	124, 522
流動負債合計	911, 370	796, 822
固定負債		
長期借入金	114, 545	106, 292
リース債務	5, 908	11, 937
退職給付引当金	68, 417	75, 723
役員退職慰労引当金	82, 951	87, 009
製品保証引当金	782	752
資産除去債務	9, 405	9, 405
その他	92, 221	177, 677
固定負債合計	374, 232	468, 797
負債合計	1, 285, 603	1, 265, 619

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和7年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	201,600	201,600
資本剰余金	18,121	18,121
利益剰余金	2,733,789	2,832,736
自己株式	△14,800	△14,800
株主資本合計	2,938,710	3,037,657
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	258,289	399,022
評価・換算差額等合計	258,289	399,022
純資産合計	3,197,000	3,436,679
負債純資産合計	4,482,603	4,702,299

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
売上高	1,148,145	1,076,627
売上原価	560,535	616,666
売上総利益	587,609	459,961
販売費及び一般管理費	226,126	224,234
営業利益	361,483	235,726
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	8,636	10,734
雑収入	2,623	1,474
営業外収益合計	11,262	12,215
営業外費用		
支払利息	3,197	4,984
雑損失	0	2,539
営業外費用合計	3,197	7,524
経常利益	369,548	240,416
特別利益		
固定資産売却益	54	-
保険差益	155	117
特別利益合計	210	117
特別損失		
固定資産除却損	0	158
特別損失合計	0	158
税引前四半期純利益	369,758	240,375
法人税、住民税及び事業税	77,390	51,884
法人税等調整額	35,913	21,503
法人税等合計	113,304	73,387
四半期純利益	256,453	166,988

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	49,990千円	45,619千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	火工品事業	賃貸事業	計	
売上高	1,017,231	130,913	1,148,145	1,148,145
セグメント利益	299,994	90,074	390,069	390,069

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	390,069
全社費用（注）	△28,585
四半期損益計算書の営業利益	361,483

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	火工品事業	賃貸事業	計	
売上高	944,158	132,469	1,076,627	1,076,627
セグメント利益	170,010	95,310	265,321	265,321

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	265,321
全社費用（注）	△29,594
四半期損益計算書の営業利益	235,726

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。